

富士山の大展望に期待を寄せて 大菩薩嶺

実施日 2016年7月3日(日)
 天候 晴れ後曇り後晴れ
 リーダー 中村 友子
 参加者 島本陳重、白石恵美子、安田三恵子、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、小名秀鋭、佐藤政司、瀧澤きよの 計11名
 費用 JR2,110円(高尾起算)
 1,300円 計3,410円
 タイム JR高尾駅(7:06~8:01)甲斐大和駅(8:10~8:51)上日川峠B S (9:15~9:40)福ちゃん荘(9:40~10:20)大菩薩峠(10:25~10:35)賽ノ河原(10:35~11:15)雷岩(11:30~11:40)大菩薩嶺(11:45~13:00)丸川荘(13:10~15:00)大菩薩峠登山口B S (15:00~15:10)大菩薩の湯(16:40~17:06)塩山駅

都内では、前日、当日(結果的には翌日も)と7月の気温らしくなく猛暑続きの予報であったがさすがに1600mに近い上日川バス停に来ると高原の爽やかな風が嬉しかった。

バス停近くの

駐車場にはすでに満車かと思われるほどの車が並び登山者の多いのには驚いた。

福ちゃん山荘を通り過ぎ大菩薩峠まで進む。木陰の中を風に当たりながらの歩行は最高! しかし、この気分も大菩薩峠まで、なんだか風が怪しい。かすかに



富士山が雲に包まれ現れてきた。天気予報では大気不安定? 昨日に続き猛暑の中を木陰

も無い尾根を歩くのかと覚悟して来たが、長時間の休憩は体が冷えてしまうほどの涼しい尾根になった。

雷岩ではガスも上がって来、視界も無くおまけに寒く、昼食も休憩も不向きな場所になっていた。それでも近くの林の中で昼食を済ませ、大菩薩嶺に向かう事



とした。やれやれ、そこからは樹林帯歩きになり又、北斜面に回り込んだ為、寒

さを免れた。先ほどまでの寒さにはビックリ。山での気候の察知は難しいものである。先ほどのガスはすっかり流れてしまい日が差し始めた。

丸川峠に在る丸川荘で休息しゲート迄下る一方であるが、ここは標高差1000m超えの厳しい下りである。途中、S氏ヒラタケ発見、T氏採取、大量収穫なり。



バス停に着いたときは真夏の暑さになっていた。山頂で寒いから早く風呂に入りたいと言った者は一人二人ではない。バス停から10分ほど下って大菩薩の湯につかり16時40分のバスにて塩山駅。解散とした。

今回の山行は気候の変化に驚き、又それが雨にならず、晴れに向いたので楽しませてもらった。ヒラタケの群生にも驚き、大菩薩の湯でのお土産買い物も出来て良かった。

更に塩山での反省会もいつもの場所で馬刺しで一杯が出来満足な一日だった。参加者の皆さまご協力有難う御座いました。

(記・中村 友子)
(写真提供・伊藤 久雄)

